

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代
77	うたがわくにむね 歌川国宗	犬と遊ぶ美人	絹本着色一幅	文政年間（1818-30）頃
78	うたがわくにむね 歌川国宗	かきつばたとびじん 杜若と美人	絹本着色一幅	文政年間（1818-30）頃
79	うたがわくにむね 歌川国宗	つめきり	絹本着色一幅	文政年間（1818-30）頃
80	うたがわにかつ 歌川国勝	しゃみせん <small>の</small> 稽古	絹本着色一幅	天保～弘化年間（1830-48）頃
81	うたがわくにひで 歌川国英	しゅうしきじょ 秋色女	紙本着色一幅	文政年間（1818-30）頃
82	うたがわくにひさ 歌川国久	ははとこ 母と子	紙本着色一幅	文化年間（1804-18）
83	うたがわくにひさ 歌川国久	むしをとるおんな 虫を採る女	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）前期
84	うたがわとよひろ 歌川豊広	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間（1789-1801）前期
85	うたがわひろしげ 歌川広重	つきまかりをきくおんな 月夜雁を聴く女	紙本淡彩一幅	安政年間（1854-60）前期
86	うたがわひろしげ 歌川広重	すみかまず 炭竈図	絹本淡彩一幅	安政年間（1854-60）前期
87	とぼひろまる 鳥羽広丸	ゆうじよ 遊女	紙本着色一幅	文化年間（1804-18）後期
88	にだいうたがわひろしげ 二代歌川広重	とげつきよう 渡月橋	絹本着色一幅	安政6～慶応元年（1859-65）
89	うたがわくによし 歌川国芳	えんだいびじん 縁台美人	絹本着色一幅	嘉永年間（1848-54）
90	とよはらくにちか 豊原国周	ごはいゆう 五俳優	絹本着色一幅	明治3～6年（1870-73）頃
91	うたがわくにとし 歌川国歳	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	明治初期（1868-77）頃
92	うたがわさだかげ 歌川貞景	あしあらい 足洗い	絹本着色一幅	文政～天保年間（1818-44）
93	うたがわさだひで 歌川貞秀	にびじん 二美人	絹本着色一幅	天保～明治初期（1830-75）頃
94	つきおかよしとし 月岡芳年	おうかびじん 桜下美人	絹本着色一幅	慶応（1865-68）～明治年間（1868-1912）初年頃

第3章 上方と地方で描かれた肉筆浮世絵の展開

95	かわえだらよのぶ 川枝豊信	しゅうりようさい 精霊祭	紙本着色一幅	享保年間（1716-36）
96	つきおかせつてい 月岡雪鼎	ひなにんぎょうをだくゆうじよ 雛人形を抱く遊女	紙本着色一幅	明和年間初期（1764-66）
97	つきおかせつてい 月岡雪鼎	みたてそがのじゅうろうととらごぜん 見立曾我十郎と虎御前	絹本着色一幅	明和2年（1765）
98	つきおかせつてい 月岡雪鼎	おとこまい 男舞	絹本着色一幅	明和年間末期（1769-72）～安永7年（1778）
99	つきおかせつてい 月岡雪鼎	ゆうじよ 遊女	絹本着色一幅	天明2～3年（1782-83）頃
100	すみのえぶぜん 墨江武禅	ゆうぐれのにわ 夕暮れの庭	紙本着色一幅	安永年間（1772-81）
101	つきおかせつさい 月岡雪斎	びじんゆうぎ 美人遊戯	絹本着色一幅	寛政～天保年間（1789-1844）
102	むかん 無款	おはらめ 大原女	絹本着色一幅	天保～慶応年間（1830-68）頃
103	ぎおんせいとく 祇園井特	ひもをむすがおんな 紐を結ぶ女	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）
104	ぎおんせいとく 祇園井特	こもり 子守	紙本着色一幅	文化12年（1815）
105	みはたじようりよう 三島上龍	はなふぶき 花吹雪	絹本着色一幅	天保年間（1830-44）
106	よしわらしんりゆう 吉原真龍	もみじのした 紅葉の下	紙本着色一幅	天保～弘化年間（1830-48）
107	よしわらしんりゆう 吉原真龍	しおくみのまい 汐汲みの舞	絹本着色一幅	天保～弘化年間（1830-48）
108	よしわらしんりゆう 吉原真龍	しおひがり 潮干狩	絹本着色一幅	天保～弘化年間（1830-48）
109	まさもり 昌盛	まいひめ 舞姫	絹本着色一幅	天保年間（1830-44）以降
110	おおいしまとら 大石真虎	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	絹本着色一幅	文政年間（1818-1830）
111	しゅうゆうさいかりゆう 周幽斎夏龍	ものおもうおんな 物思う女	紙本着色一幅	寛政～文化年間（1789-1818）頃

光ミュージアム所蔵

美を競う

肉筆浮世絵の世界

——同時開催——

水野コレクション 美人画名品選

水野コレクション 美人画名品選			
作家名	作品名	材質・技法	制作年代
第1展示室（3階）			
菊池契月	歌舞図	絹本彩色	明治40年（1907）頃
第2展示室（3階）			
菊池契月	花之秋	絹本彩色	大正初期
菊池契月	後宮	絹本彩色	明治43年（1910）
上村松園	志久礼	絹本彩色	昭和初期
上村松園	汐汲み之圖	絹本彩色	昭和初期
上村松園	追風	絹本彩色	昭和10年（1935）頃
鏑木清方	納涼	絹本彩色	大正9年（1920）
鏑木清方	娘	絹本彩色	昭和9年（1934）
池田蕉園	貝あはせ	絹本彩色	大正4年（1915）頃
伊東深水	春雪の宵	紙本彩色	昭和5年（1930）
伊東深水	銀屏風	紙本彩色	昭和28年（1953）
伊東深水	舞の後	紙本彩色	不詳
伊東深水	鏡獅子	絹本彩色	昭和15年（1940）頃
有賀義衛	宵	紙本彩色	昭和55年（1980）頃
橋本明治	春座敷	紙本彩色	昭和55年（1980）

光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界				
No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代
第1章 肉筆浮世絵の展開				
1	むかん 無款	しゃみせんをひくざじよ 三味線をひく坐女	絹本着色一幅	元禄年間（1688-1704）
2	ふるやましろまさ 古山師政	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	寛保～延享年間（1741-48）
3	とりいきよます 鳥居清倍	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
4	むかん 無款	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
5	とうせんどうりふう 東川堂里風	にせいなかむらしちさぶろう 二世中村七三郎	紙本着色一幅	享保年間（1716-36）
6	にしかわたるのが 西川照信	ならかすがわかみやしゃさいれいえまき 奈良春日若宮社祭礼絵巻	紙本着色一卷	正徳年間（1711-16）

水野美術館

2023年7月29日（土）～9月24日（日）

開館時間：9時30分～17時30分(最終入館17時)

〒465-0292 愛知県津島市水野1-1-1

主催＝水野美術館、信濃毎日新聞社、SBC信越放送
特別協力＝光ミュージアム

監修＝鈴木浩平（美術史家）、故・永田生慈（美術史家・北斎研究家）
企画協力＝アートシステム

※本リストの掲載順と作品展示順は必ずしも一致しません

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代
7	ばいおうけんえいしゆん 梅翁軒永春	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
8	ばいおうけんえいしゆん 梅翁軒永春	ゆうじよとねこ 遊女と猫	紙本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
9	やまぎきりゆうじよ 山崎龍女	いろこたちすがた 色子立姿	紙本着色一幅	享保年間（1716-36）
10	みやがわちようしゆん 宮川長春	たちびじん 立ち美人	絹本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
11	みやがわちようしゆん 宮川長春	りゅうかぬのさらし 柳下布さらし	紙本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
12	みやがわちようしゆん 宮川長春	みたてきんこうせんにな 見立琴高仙人	紙本着色一幅	正徳～享保年間（1711-36）
13	みやがわちようき 宮川長亀	かやびじん 蚊帳美人	絹本着色一幅	享保～寛保年間（1716-44）
14	みやがわいつしやう 宮川一笑	おうかびじん 桜下美人	紙本着色一幅	元文年間（1736-41）
15	みやがわいつしやう 宮川一笑	わかしゆとびじんず 若衆と美人図	紙本着色一幅	元文～寛保年間（1736-44）
16	みやがわいつしやう 宮川一笑	しゅうきとびじん 鍾馗と美人	紙本着色一幅	元文末期～寛保年間（1739-44）
17	かつかわしゆんすい 勝川春水	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	宝暦～明和年間（1751-72）頃
18	とうえんさいかおう 東艶斎花翁	おいばね 追い羽根	紙本着色一幅	寛保～寛延年間（1741-51）
19	むかん 無款	ゆうほびじん 遊歩美人	絹本着色一幅	寛保～宝暦年間（1741-64）
20	かわまたつねゆき 川又常行	みたてけんとうし 見立遣唐使	紙本着色一幅	享保年間（1716-36）末期～寛保年間（1741-44）頃
21	かわまたつねまさ 川又常正	しやうりやうながし 精霊流し	絹本着色一幅	寛保～宝暦年間（1741-64）
22	じゅこうていよしのが 寿香亭吉信	つづみうつおんな 鼓打つ女	紙本着色一幅	宝暦年間（1751-64）
23	ししん 至信	えんききにすわるむすめときんぎょばちをもつしやうじよ 縁先に座る娘と金魚鉢を持つ少女	紙本着色一幅	安永年間（1772-81）中期頃
24	しばこうかん 司馬江漢	とうびじん 唐美人	絹本着色一幅	天明年間（1781-89）
25	いそだこりゆうさい 磯田湖龍斎	歯をみがくびじん 歯を磨く美人	絹本着色一幅	天明年間（1781-89）
26	かつかわしゆんしやう 勝川春章	びじんとだるま 美人と達磨	絹本着色一幅	天明7～8年（1787-88）頃
27	かつかわしゆんえい 勝川春英	きんたろう 金太郎	絹本着色一幅	享和～文化年間（1801-18）頃
28	かつかわしゆんえい 勝川春英	べんげい 弁慶	絹本着色一幅	享和～文化年間（1801-18）頃
29	かつかわしゆんじやう 勝川春常	しゅんぷうかぎほこう 春風歌妓步行	紙本着色一幅	安永6～天明7年（1777-87）頃
30	きたおしげまさ 北尾重政	つきをみるびじん 月を見る美人	紙本着色一幅	天明～寛政年間（1781-1801）
31	くぼしゆんまん 窪俊満	あまごいこまち 雨乞小町	絹本着色一幅	享和～文化年間（1801-18）頃
32	くぼしゆんまん 窪俊満	おうかびじん 桜下美人	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）
33	にだいとりにきよもと 二代鳥居清元	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間（1789-1801）
34	みずのろちやう 水野廬朝	ゆきみびじん 雪見美人	絹本着色一幅	寛政年間（1789-1801）
35	きんぷうしやとよまる 琴風舎豊麿	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間（1789-1801）
36	きたがわつきまる 喜多川月麿	はぎとおんな 萩と女	絹本着色一幅	享和年間（1801-04）頃
37	きたがわゆきまる 喜多川行麿	ははとこ 母と子	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）頃
38	きたがわよしまる 喜多川吉麿	かさもつびじん 傘持つ美人	紙本着色一幅	文化年間（1804-18）
39	きたがわながまる 喜多川長麿	ざしきのにびじんず 座敷の二美人図	絹本着色一幅	文化～文政年間（1804-30）
40	ふじまる 藤麿	たびのおんな 旅の女	紙本着色一幅	享和（1801-04）～文化年間（1804-18）前期頃
41	こいかわはるまさ 恋川春政	ゆうじよ 遊女	絹本着色一幅	享和～文化年間（1801-18）
42	むかん 無款	なんえきのおんな 南駅の女	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）頃

No.	絵師名	作品名	材質・形状	制作年代
43	ちやうぶんさいえいし 鳥文斎栄之	おののこまち 小野小町	絹本着色一幅	寛政年間（1789-1801）
44	ちやうぶんさいえいし 鳥文斎栄之	あさくさとしのいち 浅草歳の市	紙本着色一幅	文化年間（1804-18）
45	ちやうえんさいえいしん 鳥園斎栄深、 しまくんざん 島君山	えんそうのさんびじん 円窓の三美人	絹本着色一幅	寛政年間（1789-1801）
46	いつかんさいえいしやう 一貫斎栄尚	げいしやたとすがた 芸者立姿	絹本着色一幅	寛政～文化年間（1789-1818）
47	たかだえいちやう 高田栄晁	よくごびじん 浴後美人	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）
48	れきせんでいえいり 礪川亭永理	ゆうじよ 遊女	絹本着色一幅	文化年間（1804-18）
49	げんじゅさいえいぎやう 玄珠斎栄暁	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	絹本着色一幅	文政年間（1818-1830）

第3展示室（2階）

第2章 百花繚乱・多彩な作品群				
50	かつしかほくさい 葛飾北斎	にちりゆうげつ 日龍月	紙本着色三幅対	寛政12～文化5年（1800-08）
51	かつしかほくさい 葛飾北斎	にちれん 日蓮	紙本着色一幅	文化8～文政3年（1811-20）
52	かつしかほくさい 葛飾北斎	あさづまがね 浅妻舟	紙本着色一幅	文化～文政年間（1804-30）
53	かつしかほくさい 葛飾北斎	よじやう 豫讓	紙本着色一幅	弘化3年（1846）
54	しやうていほくじゆ 昇亭北寿	ゆうじよどうちゆう 遊女道中	紙本着色一幅	寛政～文化年間（1789-1818）
55	りゅうりゆうきよしんさい 柳々居辰斎	むすめとじゆうしや 娘と従者	紙本着色一幅	寛政（1789-1801）後期～文政年間（1818-1830）
56	ていさいほくば 蹄斎北馬	たう 植え	絹本着色一幅	文化～天保年間（1804-44）
57	ていさいほくば 蹄斎北馬	おうかびじん 桜下美人	絹本着色一幅	文化～天保年間（1804-44）
58	かつしかほくめい 葛飾北明	あんどんびじん 行燈美人	絹本着色一幅	文化～文政年間（1804-30）
59	ほうていごせい 抱亭五清	きくをめでるびじん 菊を愛でる美人	絹本着色一幅	文化～文政年間（1804-30）
60	ほうていごせい 抱亭五清	ゆうじよにあこがれるおんな 遊女に憧れる女	絹本着色一幅	文化～天保6年（1804-35）
61	かつしからいしゆう 葛飾雷周	ふたつまくら 二つ枕	紙本着色一幅	文化～文政年間（1804-30）
62	しゆんさいれんば 駿斎連馬	ほととぎすとゆうじよ ほととぎすと遊女	絹本着色一幅	文化～文政年間（1804-30）
63	かつしかためなお 葛飾為直	みたてふげんぼきつ 見立普賢菩薩	絹本着色一幅	天保～安政6年（1830-59）
64	かつしかためなお 葛飾為直	とうだい 燈台	紙本着色一幅	天保～安政6年（1830-59）
65	けいさいえいせん 溪斎英泉	たちびじん 立ち美人	絹本着色一幅	文政年間（1818-30）
66	にだいとりにきよみつ 二代鳥居清満	せつちゆうかきさしびじん 雪中傘さし美人	絹本着色一幅	文化～弘化年間（1804-48）
67	かつかわしゆんせん 勝川春扇	ゆあがりびじん 湯上り美人	紙本着色一幅	文化3～文政2年（1806-19）頃
68	きたぶせい 喜多武清	ほろよいい ほろ酔い	絹本着色一幅	享和～嘉永年間（1801-54）
69	いわせきやうすい 岩瀬京水	ほたるがり 蛍狩	絹本着色一幅	文政～安政年間（1818-60）
70	むかん 無款	りやうごくはなび 両国花火	絹本着色一幅	文政～天保年間（1818-44）
71	うたがわとよはる 歌川豊春	ゆうじよとかむろ 遊女と禿	絹本着色一幅	寛政年間（1789-1801）頃
72	うたがわとよくに 歌川豊国	おうかゆうじよとかむろず 桜下遊女と禿図	絹本着色一幅	寛政年間（1789-1801）中期
73	うたがわくにまさ 歌川国政	たちびじん 立ち美人	紙本着色一幅	寛政8年（1796）頃
74	うたがわくにしげ 歌川国重	すだれをあげるおんな 簾をあげる女	絹本着色一幅	文政年間（1818-30）頃
75	うたがわくにやす 歌川国安	たちびじん 立ち美人	絹本着色一幅	文政年間（1818-30）頃
76	うたがわくにつぐ 歌川国次	みめぐりのさんだいめおのえきくごろうとげいぎ 三囲の三代目尾上菊五郎と芸妓	紙本着色双幅	文政年間（1818-30）頃